



〔I〕 チェスをする者は単にチェスをしているのではない、それはちょうどチェスの駒が単なる木片ではないのと同じである。様々な予測や想像をはたらかすことによって、チェスをする者は、放射状にはりめぐらされた思惟の主体となり、そこでは論理と夢想、そして推論と気まぐれが交錯する。有用性と価値について問うことで、チェスをする者は個々人が与えられた人生をどのように生きて、何をし  
て過ごすべきかという最も根本的な哲学的問いに深く関わることになるのだ。

〔II〕 11, 16, 17, 20

11: 第1段落第2文から、虫の中には家庭にある食品や農場にある作物を害するものがあることがわかるため、人類の食糧資源に影響を与えていることがわかる。

12: 選択肢は、虫を見るといつも恐れや嫌悪感を抱くという内容。第2段落第1文から、虫を一目見るだけで恐怖を感じ、脳の活動を示す画像から、しばしば嫌悪感を抱いていることがわかるが、常に感じるわけではないため不適。

13: 選択肢は、幼少期に虫を避けるようになるという内容。第2段落第2文から、進化の過程で虫を避けるような反応が脳に組み込まれたとあり、幼少期ではないため不適。

14: 選択肢の「これまでに確認された中で最も嫌悪感と恐怖心を抱かせる昆虫」に該当するものは本文中に確認できない。第3段落最終文が言わんとすることは、外骨格等の、一般に人が恐怖心や嫌悪感を抱く要因を克服したと思っても、新たに発見された事実がさらに恐怖心や嫌悪感を抱かせる要因となりうる、ということであり、その一例がある種のゴキブリについての事実である。

15: 第4段落第1文に“Not every insect disgusts us ~”とあり、例としてチョウが挙げられており、第4段落第2文ではミツバチが虫らしい外観を持ちながら唯一愛されている種であると示されている。チョウだけが嫌悪感を抱かせない虫であるわけではないため不適。

16: 第4段落第4文“~ from our earliest days as a species, we have had a special relationship with ~ the honey bee”から、選択肢の内容と一致する。

17: 第6段落最終文に「幸運なことに、私たちと好きなと同じ匂いがミツバチも好きなのだ」とあり、花の匂いが人間にとってもミツバチにとっても良い匂いであるということが分かる。

18: 選択肢から言えることは、

「スズメバチがミツバチほど花粉を運ぶのが得意でない」のは「花がミツバチを惹きつけるように進化した」からだ

という因果関係であるが、この論理は本文内容とずれている。第6段落第3文で、ミツバチはスズメバチより花を受粉させやすい体の特徴を持つように進化したことが触れられており、さらに第6段落第5文から次の因果関係を確認できる。

「花は主にミツバチを惹きつける形や色を進化させた」のは「ミツバチは花粉を運び花が繁殖する手助けをするのがとても得意である」からだ

このように、花がミツバチを惹きつけるように進化したのは「原因」ではなくて「結果」である  
とわかる。

19: 選択肢は「もうミツバチの数が減少しているので、ミツバチは以前ほど働かない」という内容。最終段落第2文で「私たちが食べるほぼすべての果実、木の実や野菜はミツバチの働きのおかげなのである」、最終段落第3文でミツバチが激減しているという内容はあるが、働かなくなるという内容は言及されていない。

20: 最終段落第4文「~, ミツバチや他の昆虫が元々生息している場所を人間が占有することが、昆虫の数が減少した主たる原因である」とあり、人口集団の拡大が昆虫の数の減少の主要因だということがわかる。

〔III〕 (a) 1. for extension

~ a proposal ( ) the highway route nearby their homes in the peaceful area.

.....部分が名詞句なので、1. は for extension of とすべき。

- (b) 4. to steer with  
 ~ and sails to help ( ) their ships.  
 steer ~ 「~を操縦する」 4. は with を取り除く必要がある。
- (c) 3. was kept  
 ~ a key element that ( ) them from finding a cure for the disease.  
 keep A from *doing* ~ 「Aが~するのを妨げる」を用いるならば、空欄には能動態が必要。  
 3. は was を取り除く必要がある。
- (d) 4. hoping of seeing  
 ~( ) their music idols.  
 hope for ~ 「~を望む」 4. は hoping for seeing とすべき。
- (e) 4. whom paid  
 ~ those (.....) its annual membership fee.  
 .....部分を pay を用いて関係節にする場合、主格の関係代名詞が必要。4. は **who paid** とすべき。
- (f) 2. couldn't realize that  
 ~ I still ( ) the point of what the author was trying to express.  
 .....部分が名詞句なので、2. は that を取り除く必要がある。
- (g) 2. do a request in  
 ~ had to ( ) the local government office **for** permission to enter ~  
 make a request for ~ 「~を求める」。3. は **make a request in** とすべき。
- (h) 4. is like that  
 ~ it ( ) the government is going to make ~  
 It is like SV ~ 「~のようである」。 It is likely that SV ~ 「~の可能性はある」。  
 4. は that を取り除く、または **is likely that** とする必要がある。
- [IV] (a) 5 compláin [éi]と同じものは sacred  
 1. cómfort [Á]                      2. bárgain [á:]                      3. céiling [í:]                      4. nóminate [ó]
- (b) 3 cónscience [ó]と同じものは cónsequence  
 1. sóciety [ár]                      2. concéive [í:]                      4. wéapon [é]                      5. concentrátion [éi]
- (c) 1 indústrial [Á]と同じものは wónderful  
 2. admínistrative [í]                      3. áudience [ó:]                      4. cónstitute [ó]                      5. fáculity [æ]
- (d) 3 sécretary [é]と同じものは réckon  
 1. ínsect [í]                      2. mólecule [ó]                      4. recéipt [í:]                      5. annivérsary [ó:]
- (e) 4 políce [í:]と同じものは génius  
 1. devíce [ái]                      2. divórcé [ó:]                      3. oppóse [óu]                      4. confírm [ó:]
- (f) 5 cátalogue [æ]と同じものは diplomátic  
 1. demócracy [ó]                      2. phenóménon [ó]                      3. prógram [óu]                      4. coóperate [ó]

